



## 2025年スタート～校歌を歌える1年に！～

今年は、校歌をしっかりと歌えるようになることを目標にしてみませんか？校歌には、学校の歴史や大切な思いが込められています。渡部進路指導部長が教えてくれた、歌詞に身振り手振りをつけて覚える工夫を思い出し、みんなで歌うことで、学校への愛着を深め、仲間との絆をより強くしていきましょう！



## 同窓会主催講演会開催～仙台育英 須江監督が語る『自分の育て方』～

12月20日、仙台育英高等学校野球部監督の須江航さんをお招きし、同窓会主催講演会が開催されました。須江監督は、「先生や親が育ててくれるわけではなく、すべては自分次第である」という強いメッセージを伝えてくださいました。また、「成功から学ぶことは少なく、失敗から学ぶしかない」という言葉には、多くの生徒が深く考えさせられたようです。講演後の質疑応答では次々と手が挙がり、予定時間を延長して丁寧に一人一人の質問に答えていただきました。須江監督の言葉は、生徒たちの心に大きな影響を与え、自分自身の未来に向けて真摯に向き合うきっかけとなったようです。

自分を変える力は自分の中に 3年 庄司 智哉(硬式野球部主将)

今回の講演会では、「自分を育てる、変えるためには、さまざまなことに挑戦して、多くの失敗を経験することが最も近道である」という教えをいただきました。また、人それぞれ性格や価値観、自分に合うことや合わないことが異なりますが、そうした部分に自分から積極的に向き合うことで、人として大きく成長できることを学びました。特に心に響いたのは、「自分を変えるのも変えないのも、結局は自分次第である」という言葉です。周囲の人がどれだけ努力しても、自分自身を変えることはできません。だからこそ、少しでも自分を変えたいと思うなら、自ら行動を起こし、挑戦を続けることが大切なのだと改めて実感しました。これからも私の人生は続いていきます。その中で、さまざまなことに挑戦し、人としてさらに成長しながら、自分自身を育てていきたいと思います。そしてその過程を通じて、他者にも良い影響を与えるような存在になれたらと思います。



## みやぎ高校生フォーラムに参加～地域探究学習のさらなる高みを目指して～

12月15日、宮城県教育委員会主催の「みやぎ高校生フォーラム～私たちの志と地域貢献～」に参加しました。このフォーラムは、各高校が特色ある取組をポスター形式で発表し、他校の生徒から貴重な意見や感想をもらえる機会となっています。代表校発表では、柴田農林高校の「一目千本桜再生プロジェクト」や、大河原商業高校による「廃棄梅と地元養豚産業のもちぶたを活用した角煮の企画・販売」など、地域資源を活用した創意工夫に満ちた取組が紹介されました。また、高校生たちが地域をもっと元気にするためのアイデアを熱意を込めて発表し、会場は大いに盛り上りました。本校でも今年度から地域探究の学びをスタートさせました。他校の素晴らしい活動に刺激を受けながら、今後も地域貢献を目指した活動を充実させていきたいと思います。生徒の皆さんのがんばりを期待しています。

地域貢献への情熱を育む 菅原 縁(2年 奉仕活動部)



今回のフォーラムを通じて、地域活性化のためのさまざまな活動を知ることができました。それぞれの地域の特性を活かしたボランティア活動が多く、地域への熱い思いを強く感じました。また、宮城県内の多くの高校生が主体的に地域貢献に取り組んでいる姿を知り、私自身もさらに努力しようと改めて感じました。

発表や意見交換を通して、地域への思いを共有しながら地域貢献について考える貴重な機会となりました。これからは、このフォーラムで学んだことを活かし、地域に貢献する活動を純粋に楽しみながら取り組んでいきたいと思います。

発表を通じて広がる視野と学び 柿沼 美咲(2年 家庭部)



今回、私は家庭部が行っているボランティア活動について発表しました。発表中は多くの人がいる中で声が響きにくかったり、緊張して思うように話せなかったりと課題もありましたが、無事にやり遂げることができました。また、他校の活動について知る良い機会になりました。特に、大河原商業高校の発表が印象的でした。彼らがボランティアや探究活動を全力で楽しみながら取り組んでいる姿に驚き、同じ高校生とは思えないほどの活躍ぶりに感動しました。他の学校の活動も多種多様で、それぞれの工夫や努力を知り、視野を広げるきっかけとなりました。この経験を活かし、私たちの活動もさらに工夫を重ね、より良いものにしていきたいと感じました。

## 1年 キャリアセミナー開催

12月4日、1年生を対象にキャリアセミナーを開催しました。セミナーでは、さまざまな業種でご活躍されている講師の方々をお招きし、生徒たちが将来の働き方や生き方について深く考える貴重な機会となりました。講師の方々からは、仕事内容やその魅力、さらに必要とされるスキルについて具体的なお話をいただき、生徒たちはこれまで漠然としていた将来像をより明確に描くきっかけを得たようです。

AIの発展に伴い、消滅すると予測される職業がある一方で、新たな職業が生まれることも期待されています。このような急速な時代の変化に適応するためには、柔軟な思考を持ち、多様な情報に積極的に触れることができます。今回のセミナーが、生徒たちにとって自身の将来を見つめ直し、新たな可能性を模索する一助となれば幸いです。

◎AI技術の発達により、人間の仕事が少なくなっていると聞き、保育の先生たちの仕事はどうなるのだろうと心配していたけど、「子どもたちの心の中を保育士はよく観察する必要がある」と言つていて「保育の先生はAIでは代替できない」と分かりました。保育所と幼稚園では仕事内容は似ていますが、必要な資格が違ったり、預かる時間が違つたりすることが分かりました。

◎美容の仕事は、色々なものがあって驚きました。そして、芸能人のメイクをする仕事に就くには想像を絶する大変さがあることを知りました。美容の仕事は、人の人生を変え、誰かの背中を押せるということを聞いて、とてもいい仕事だと思いました。「ありがとう」という言葉はたくさん言った方がいいと言われたので、これからたくさん言つていただきたいです。

◎児童施設や公務員の方が、保育士として働いている場所があると知り、驚いた。分類が多く、場所によって必要な資格が異なっていることや、専門的な知識が必要だと知った。もう少し勉強が必要だと思った。

◎介護は保育と違って、ゴールが見えない職業だと言われて、本当にそうだなと思い、この言葉がとても印象に残った。とても辛くて難しい仕事なのかと思っていたが、職員の人たちがとても笑顔で話していたので、本当にこの仕事が好きで楽しいのだと、聞いていて感じた。



## アンサンブルコンテストの結果

12月21日・22日に開催された合唱と吹奏楽の各アンサンブルコンテストにおいて、感染症の影響で棄権したチームもありましたが、以下の成績を残すことができました。吹奏楽では名取地区の代表となり、1月12日に開催される県大会への出場権を獲得しました。引き続き、応援よろしくお願ひします。



祝

◎合唱アンサンブルコンテスト宮城県大会

審査員特別賞

◎吹奏楽アンサンブルコンテスト名取地区大会

トロンボーン四重奏 金賞(名取地区代表・県大会へ)

管打楽器八重奏 金賞

## 地下道に彩を～なとりこどもファンド～

令和6年3月30日に開通した国道4号増田北地下道を、地域の皆さんのが安心して通れる明るい場所にするため、奉仕活動部がさまざまな取り組みを行っています。その一環として、現在は写真部の生徒が撮影した素晴らしい作品が展示され、地下道を鮮やかに彩っています。普段、地下道を利用しない人も、ぜひ足を運んで作品をご覧いただき、生徒たちの創意工夫や感性に触れてみてほしいと思います。



## 痴漢・盗難防止キャンペーンに参加

12月18日、本校の生徒会役員が岩沼警察署からの要請を受け、名取駅で痴漢・盗撮撲滅を呼びかける広報活動に参加しました。当日は、広報啓発用のグッズやチラシを駅利用者に配布しながら、犯罪防止への意識を高めるための活動を行いました。駅を利用する多くの方が生徒たちの呼びかけに耳を傾けてくださり、地域と連携した取り組みとして意義深いものとなりました。

※2024年12月25日付河北新報朝刊にも掲載されました



## ◎2月の行事予定◎

1日 (土) ~体育館フロア改修工事開始	17日 (月) 卒業認定会議
3日 (月) ~6日 (木) 3年午前授業	19日 (水) 3年登校日 大震災を語る会
6日 (木) 1、2年考査日割発表	1、2年午前授業~28日 (金)
7日 (金) ~3年自宅学習日	25日 (火) 3年再考査
13日 (木) ~1、2年後期期末考査~18日 (火)	28日 (金) 同窓会入会式・表彰式

